



修学旅行京都編 時を超え美しくひと輝く 歴史都市

修学旅行2日目。今年度は朝食前に東本願寺を参拝。6時20分に御影堂門(ごえいどうもん)の開門シーンをちょうど見ることができ幸運のスタート。さらに敷地内に足を踏み入れると、世界最大級の木造建築である御影堂門(ごえいどう)に圧倒されました。そして、早朝の張りつめた空気の中で、全員そろって静かに参拝。子供たちの無事と常磐小に関わるたくさんの方々の健康・繁栄を願いました。

参拝を終えて旅館に戻って朝食。夕食以上に何度もご飯をおかわりして美味しそうに食べる子供たちの元気で健康な姿を見て嬉しくなりました。退館時には、おかみさんはじめお花坊のスタッフの皆様のお言葉がけや心温まる対応に胸が熱くなりました。



続いての目的地は大徳寺。大仙院にて全員そろって座禅体験。心を無にしようと努めますが、なかなか無にはなりません。次々と頭に浮かんでくるのは、家族や親族、友人や知人、もちろん常磐小の子供たちや地域の方々をはじめとした多くの人たちの笑顔でした。改めて自分自身が素敵な人たちと出逢い、人に生かされているなど感じました。座禅の最中、志願して僧侶様に3回叩いていただきました。これが思いのほか心地よく、子供たちも自ら刺激を求めていた子がたくさんいました。座禅が終わった後に、痛かったと声を発する人が多いようですが、常磐小の子供たちが心を落ち着けており、座禅後も静かに熱心に説法を聞いていた姿から、「**今シーズンの修学旅行で一番静かで最後まで集中していた学校です**」と、ここでもお褒めのお言葉をいただきました。また、仏教の八正道の一つである正見(しょうけん)についてのお話や茶道の作法など、**日本文化に触れ学びの多い体験**となりました。

続いての目的地は金閣寺。正式名称は鹿苑寺(ろくおんじ)です。子供たちは、黄金に輝く舍利殿に見とれるだけでなく、タブレットで写真を撮りながら、金閣寺の歴史について学びを深めました。



午後からは清水寺へ。この時期は紅葉が大変美しく、清水寺から一望できる京都の街並みに感動し、釘を1本も使わずに組み上げた12mにも及ぶ巨大な檜の柱からなる「清水の舞台」に心を奪われていました。また、弁慶の鉄の下駄(げた)に触れたり、重さ約17キロの錫杖(しゃくじょう)を持ち上げたりと、清水寺を満喫していました。その後は、大好きな家族や知人にお土産を買い、満足げな表情でいっぱいでした。



修学旅行最後の見学地は二条城。岡崎ゆかりの江戸幕府初代将軍徳川家康が、天皇の住む京都御所の守護と将軍上洛(京都へ行くこと)の際の宿泊所とするために築城したものです。また、15代将軍徳川慶喜(よしのぶ)が二の丸御殿で「大政奉還」の意思を表明したことは、日本史上あまりにも有名です。子供たちは、豪華絢爛な彫刻や障壁画に見入ったり、歩くたびに音が鳴る「鶯張り(うぐいすばり)」の廊下を

踏みしめたりしながら、歴史と文化を堪能しました。以上、1泊2日の奈良・京都の修学旅行は、多くの方に褒められ、思い出深い最高の旅行となりました。何よりも、**6年生全員そろって参加でき、健康で無事に帰ることができて本当に良かったです**。

